句集

探鉱

山口静居

句集　探鉱
非売品

昭和五十五年十二月一日発行

著者　山口敏雄（静居）
248　鎌倉市大町三ノ六ノ九
発行者　山口静子
印刷者　㈱中川印刷

句集

探鉱

山口静居

竜膽の
咲く山路来て
鉱探す

静居

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongb

昭和二十年代 13
昭和三十年代 67
昭和四十年代 127
昭和五十年代 159
あとがき 201
著者略歴 203

はじめに

私が句作を始めたのは戦後の荒廃期であったから既に三十年は経っている。しかし不勉強のせいか、天賦の才がないのか、さっぱり上達しない。従って人さまに私は俳句をやっていますという自信めいたものはないし、句を人に提示して評価を仰ぐ気持などさらさら無い。静かに自分一人でたのしんで来たという次第である。しかしすすめる人あって昭和二十四年から室積徂春師の「ゆく春」の同信として訓えを仰いで来た。

私は地質学を専攻したので、戦前から戦後にかけて地下資源の探査を命ぜられ、国内はもちろん、東南アジアをひと通り廻る機会があったので、句作の環境には恵まれたが、名句というのはなく迷句ばかりである。しかしあとでこれらの句を見てみると当時のことがはっきり思い出され、立派に日記の役を果してくれることに気がつく。これらの句をこのまま放置してしまうことは如何にも惜しい。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongb

少くとも子供や孫、ひいては親類縁者には何らかの形で残して、私亡きあと、私という人間の人となりや生きざまを偲んでもらう材料にしたいと思い出版を思いついた。

そこで現在までの句を作句時代順に列べて見た。仕事の忙しい時や心配ごとの多い時など句作は少ない。いけないことだと思うが、これが私が凡人である所以であろう。

これらの句の多くは「ゆく春」に掲載されたものであるが、そうでない未発表のものも相当数にのぼることを断っておく。

昭和五十五年　夏

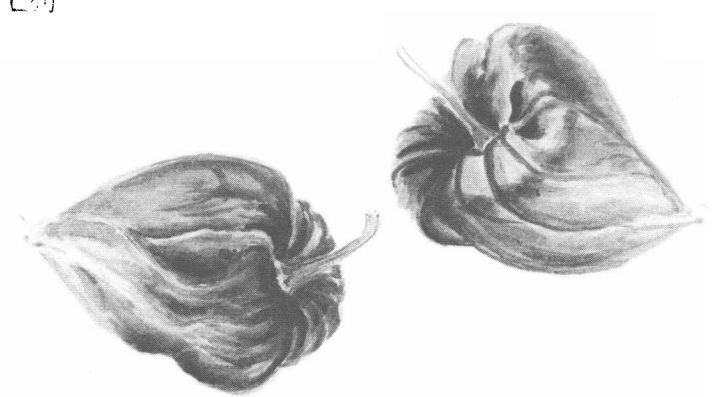
山口　静居

探鉱

山口静居句集

昭和二十年代

静



リュック重し峠あかるし若葉もえ

若葉山峠へのぼる道白し

新樹そよぎ道標ことに古りて見ゆ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongb